

## 第 38 回 池田町行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和 5 年 3 月 8 日

午後 1 時 30 分～4 時 00 分

Zoom によるオンライン会議

### 出席者（敬称略）

○委員 9 名：（名簿掲載順）

和澤忠志、宮嶋將晴、山沖義和、丸山史子、瀧澤洋子、村端浩、山崎正治、赤田伊佐雄、辻庄市

○池田町 1 名：

廣田和也（生涯学習係長）

○事務局（総務課） 2 名：

宮澤達（総務課長）

塩原長（企画係長）

（司会：宮澤達）

### 1. 開会（丸山副会長）

### 2. 会長あいさつ（山沖会長）

いよいよ委員会もあと 2 回となった。今日は、最終答申案を確定するとともに、ニュースレター No. 6 の委員会の紙面についても、ほぼ確定するようにしたい。ご協力をお願いする。

### 3. 第 8 回第 4 総務部会の報告（塩原係長）

日時 3 月 3 日（金）15:00～

Zoom による会議

<次第に記載の通り説明>

### 4. 協議

#### （1）最終（第六次）答申案について

#### 山沖会長

前回の委員会での議論を受けて、3 月 3 日の総務部会で話し合い、案文を修正し、その箇所を黄色のマーカーで示した。

まず第 1 にⅡ（2）について、皆さんの意見は、答申についてはしっかり実施してもらうということだったので、それを第 1 項目にまとめた。また、財政健全化のためには、答申以外の項目もあることから、このプラスアルファも含んだ形で行財政改革プランを策定することを第 2 項目として整理した。それに伴い、表題も「答申項目の実現・検証及び行財政改革プランの策定」とした。

第 2 に、Ⅱの（2）（3）を入れ替え、我々委員会の目標が財政健全化、行財政改革にある

ことをより鮮明にした。

第3に、Ⅱ(1)で財政シミュレーションについて触れているが、ここでは、町から提出されたものはまだ不十分であり、町長の財政危機に対する認識が足りない点を踏まえて、我々の問題意識を強調した。

<以下、字句上のいくつかの修正について説明>

以上の説明に関して、何か補足、意見等があればお願いしたい。

### **村端委員**

最終答申案の文面について全く問題はないと思う。ただ、町の財政シミュレーションを見ても、町長の財政認識が我々の認識とかなり隔たりがあると感じる。例えば、町長が予算委員会で「新たに行財政委員会を作る必要がない」と述べたと聞くと、このような話を聞くにつけてもこの答申の中で新たな行革委員会の立ち上げを要望することには非常に意義があると思う。

### **山崎委員**

3月議会の一般質問に対する町長答弁で、来年度は行革委員会を立ち上げる必要がないという発言があった。我々との温度差をかなり感じる。

また、私たちの経常収支比率の目標は80%以下だが、町長は「経常収支比率85%が目標だ」と発言していた。85%ならまだ余裕があるという認識なのか。これも私たちの思いと隔たりがあると感じた。

### **和澤委員**

3月議会の一般質問で、ある議員が「現在の委員会終了後、新たに行革委員会を立ち上げる必要があると思うがどうか」という質問をしたら、「今のところは第6次総合計画(後期)の見直しの中で検討していく」と答えた。その後の予算委員会の中でも同様の話が出たので、私から「最終答申にはそのような要望が出ている」と述べた。まだ答申が出ていないのでそのような発言をしたとも考えられるが、我々が2年間真面目にやってきたものに重きを置いていないことがそれらから感じ取れる。

「いくら答申されても、できないものはできない」という発言もあったが、初めから決めつけてシャットアウトする雰囲気があったので、「それならなぜ行革委員会を作ったのか」と言い返したいほどだった。

### **宮嶋委員**

矢口新平議員が4年間を締くくる一般質問をしたが、その中に役場駐車場問題があった。

矢口議員は、「あづみ病院では職員の車が500台あり、3,000円あるいは1,600円徴収している。ところが池田町役場では、町が借地料を120万円払い、職員がスリッパで庁舎に入

るといのはおかしいのではないか」と質した。我々の答申に対しては、その通りにやる（駐車料金を払う）という回答はなかったが、矢口議員は、「町長が決断すれば4月1日からでもできる問題ではないか」と迫った。その迫力に押されて町長は「6月までに検討する」と言わざるを得なくなった。

このことは、答申のロードマップの回答が町長の決断によって書いたものではなく、職員の作文であることが暴露されたようなものだ。結局6月までに返事すると答弁したことは、我々にいい加減に回答して、その場が過ぎれば終わりという姿勢だったことが暴露されたと私は思う。

だから、町長が決断さえすれば解決する問題はいくつもある。我々の答申項目についても同じだ。4月には町議会議員選挙があるが、我々の答申項目が一つでも実施できるように、あとは議員の皆さんに委ねるしかない。

### **宮嶋委員**

確認だが、Ⅲ(2)「未活用の普通財産の売却」の項目に、「交流センター東側スペース」を上げている。ここは現在、売却または賃貸などを公募しており、やっと動き出したというところだ。そうした事情を踏まえると、このまま書いておいてよいか。

(記載を残すことで合意)

### **山沖会長**

他の細かい表現ぶりで意見があるかもしれないが、基本的にはこれで確定させて頂きたい。何か問題があれば総務部会で相談して修正し、その都度皆さんにご連絡させて頂くことにしたい。

### **和澤委員**

町長が一般質問の答弁で、経常収支比率の目標は85%であり、その根拠は池田町の第6次総合計画に書いているからだと言った。これは第6次総合計画のどこに書いてあるのか。

### **宮澤課長**

財政のところに目標数値を85%以下とすることが書いてある。

### **和澤委員**

総合計画ではなく、財政計画に載っているということか。

### **宮澤課長**

総合計画の70ページに載っている。

## 山沖会長

ここに載っているからといって「目指す」ということとは別の話であり、総合計画上はそうしているということだ。現実問題として80%以下にすることはかなり難しいとは思いますが、我々としては財政健全化の目標として80%以下ということを使う必要がある。それによって財政に余裕ができ、いろいろな施策ができることになる。他市町村でも80%以下のところはいくつもあるので、この書き方でよいのではないかと思う。

## 村端委員

私は第5次総合計画の策定に関わっていたが、その中で財政の問題を真剣に議論し、目標をどうするかについて話し合ったことは一度もない。第6次総合計画でも、少ない回数の議論の中で、財政に踏み込んで議論したことはないのではないか。

今回の総合計画（後期）の改定にあたって、行革委員会の答申を踏まえて基本的な財政計画を盛り込むことが非常に大事になってくると思う。ここは強調しておくべきだ。

## 山沖会長

経常収支比率80%を目指すという答申にすれば、後期の総合計画の審議の中では、どのような目標値になるにしろ、しっかり議論した上で目標値を決定する形になるだろうと思う。そのような趣旨でよいか。

## 村端委員

それでよい。

## (2) 前回の委員会での質問の回答

### 廣田係長

<美術館と創造館の指定管理実施による費用について、資料に基づいて説明>

### 山崎委員

創造館について、直営と指定管理の表が載っている。単純にこれまでの職員の人件費835万4,000円がなくなったという説明だが、それが減額に反映されず、わずか272万円の減額に留まっている。逆にいえば、差額の563万円はどこかに反映されていると思われるが、これをどう解釈したらよいか。

### 廣田係長

直営の試算は令和5年度分として見積もっているものであり、あくまで最低限で見積もっている。コロナ前は経費が370万円ではなく450万円近くかかっていたので、人件費の減少分はもう少し多くなる。あくまで事業をほとんど行わず、施設の維持だけを目的とした

場合の積上げを記載している。

直営の場合の令和 5 年度の職員人件費については、職員 1 人分として入れてあるが、実際には来客があったりイベントがあったりしたときに対応できないケースがあり、これまで電話に出ないなどの苦情も度々あったので、1 人分に加え臨時職員の費用として 1.5 人分くらいを見込んでいる。

### **山崎委員**

会計年度任用職員を 1.5 人分使っているという説明をされたが、資料の(例)を見ても、正規職員が 1 人減っているだけで、会計年度は令和 4 年度と 5 年度では変わっていない。結局人件費 835 万 4,000 円というのはこの減少している正職員の分ということになる。

それが指定管理にすることで要らなくなるというのであれば、その減額分が 272 万円では余りに少ないのではないか。

### **廣田係長**

直営にした場合の経費として 370 万円と書いてあるが、指定管理料 864 万円を算定した時点は令和 5 年度の経費を出す前だった。経費の計算をした時点で 450 万円程度の金額を見込んでいたので減額分がもう少し増える。

今回は、仮に令和 5 年度と比べるとどのくらい安くなるのかを載せているが、当初の試算ではもっと減額が多くなる。

### **赤田委員**

指定管理はすでに決まっていることなので、今更言っても仕方がないが、美術館・創造館の一体的な指定管理にすることでの減額分が 551 万円と書いてある。

創造館の職員人件費 835 万円といえば係長クラスの職員が 1 人張り付いていることになる。そのような必要があるのかどうか考えてみなければならない。再雇用だとか第 2 の職場という感覚で仕事をしてもらえれば、800 万円も必要はない。仮に 300 万円程度で済むのであれば、創造館の減額は 270 万円ということはある得ない。

数字のマジックで、指定管理にすれば減額になると言っても実際にはそんなには減らない。極端な言い方をすれば、70 万円を稼ぐために 1,200 万円も投資するのなら創造館は止めた方がいい。財政改革の中ではそのような感覚で見ていかないといけない。現状をよしとしている中で、小手先で数字を操作しているだけでは、創造館を指定管理にしたことは少しも役に立ってはいない。第 2 の職場で役場 OB に活動してもらった方が減額幅はもっと大きくなるのではないのか。

### **廣田係長**

創造館とともに、美術館も前回と比べて減額している。指定管理者は以前の額でも赤字と

の報告を受けていた。今回はそれよりも更に下げている。

今回美術館単独で募集した場合、今でさえ赤字なのに果たして募集があるのかという面もあり、創造館と一体管理とした経緯もある。

#### **和澤委員**

美術館は赤字と言うが、今回の指定管理者は、これまでのスタッフ全員を雇っているという話がある。その上にまた管理者がつくということであれば、赤字なら4人を3人にするとかすればよい。問題は売上げだ。今より200万円減らしても同じ人数を雇っても経営が成り立つという計算をしていると思うので、あまり赤字と言うのはどうかと思う。

#### **山沖会長**

確認だが、美術館と創造館を合わせた2,864万円の指定管理料は、それ以上の費用はかからないということか。それとも電気代などは別ということか。

#### **廣田係長**

これには光熱水費は含まれていない。建物の管理、運営に関する費用だ。

#### **山沖会長**

そうすると、これまでの職員は引き上げるので、人件費の減額分がこちらに含まれているという説明でよいか。

#### **廣田係長**

その通りだ。

#### **山沖会長**

減る金額は、指定管理をしない場合の経費として1,136万円を見込んでいるが、経費370万円と人件費835万円を入れた数字と比べているということか。結局、減額分は、かなり高額な職員分ということか。

#### **廣田係長**

そうだ。

#### **山沖会長**

もし、その人が極端に若いかどうかは別として、係長の前くらいの人であれば、半額くらいで済む。

**廣田係長**

もっと安くなる。

**山沖会長**

そこに、若い人を持って行けばいいのではないのか。そのような考え方はなかったのか。

**廣田係長**

申し訳ないが、私には人事権がない。

**和澤委員**

以前には 300～400 万円台の人がいた。町の人事異動で 1 人の高額な職員を配置したということだ。これは甕町政の人事異動であり、高額の人をそこに配置したことは人事のミスだとは思うが。

**山沖会長**

経費が 370 万円で人件費が 400 万円なら、700 万円台で済むので 864 万円より更に 100 万円安くなる。

**廣田係長**

実際には給料以外に社会保険とかを含めると 500～600 万円になるので、見込みを立てたときには例年の実績として経費 450 万円くらいを見込み、中堅職員でも全体の経費が 860 万円より高くなると見込んでいた。

**山沖会長**

トータルで 540 万円くらい減るからいいではないかという説明になるということか。

**廣田係長**

そうだ。

**山沖会長**

どこかで、増額するという説明をされたようだったが、どの部分のことか。

**廣田係長**

町の財政シミュレーションに出ている物件費が増額になっている。指定管理の金額が昨年度の美術館のみの場合と比べて、本年度の美術館・創造館を合わせた指定管理と比べて金額が増えてしまう。その分が増額になっているという趣旨だった。

**山沖会長**

2,279万6,000円が2,864万円になるから、一見増額になるように見えるということではないか。

**廣田係長**

その通りだ。

**山沖会長**

赤田委員の話の通り、既に指定管理は決まっているので、これ以上言っても仕方がないと思うが、いかにも杜撰なシミュレーションのような気がしないでもない。

これは何年間の指定管理か。

**廣田係長**

3年間だ。

**山沖会長**

令和8年度までだから、令和7年度中には見直しを行うことだろう。

では、続いて、塩原係長の方で用意されている説明があるので、よろしくお願ひしたい。

**塩原係長**

前回の委員会での質問事項について説明したい。

<①R4.4月の財政シミュレーションと比較して、人件費が増えた理由、②美術館のLED化にかかる費用、電気代の減額分について、③美術館の空調改修費用について、それぞれ資料の通り説明>

**山沖会長**

消防団員の報酬960万円は、どこかからの振替なのか。令和4年度は、新たに消防団員を雇っていないから、どこかで支払っていたことになる。今まではどの経費で払っていたのか。例えば物件費から人件費に振替えているということか。

**塩原係長**

どこから出していたかは私の方では分からない。

**宮嶋委員**

これは令和5年度に消防団員の報酬を上げたものだ。それで人件費がこれだけ上がった



ということだ。

**塩原係長**

確かに上がってはいるが、これ程ではない。計算方法も変わっている。

**山沖会長**

いずれにせよ、上がった分とどこかからの振替分とを合わせて 960 万円になっているということでしょうか。

**塩原係長**

そういうことだ。

**和澤委員**

LED化を令和8年度に計上しているとあるが、これは総合計画に載っているのか。

**塩原係長**

これは財政シミュレーションのR8に載っている。

**和澤委員**

ということは、総合計画には載っていないのか。これから修正して載せるということなのか。

**塩原係長**

総合計画の実施計画の計画期間は3年（令和5、6、7年度）なので、実施計画には載っていない。ただ、今後の計画として財政シミュレーションには盛ってある。

**和澤委員**

人件費の件だが、財政シミュレーションによれば令和4年度中に4人退職することになっている。このシミュレーションにはこの4人分の人件費はまだ退職していないので含まれているのか。それとも削ってあるということか。

**宮澤課長**

退職者は4人いるが、年が明けてから退職届が出てきたこともあり、実際は2人分多く当初予算に載せている。

**和澤委員**

2人分というと、1,000万円くらいは削ってあるということか。

#### **宮澤課長**

会計年度任用職員や人事の調整もあるが、単純に人間だけを考えれば1,000万円程度は少なくなる。

#### **山沖会長**

念のために確認するが、人件費は令和4年度が9億1,900万円、令和5年度に9億3,900万円と2,000万円増えている。今の話であれば4,736万円増えるはずだが、職員の減員分を勘案すると2,000万円程度の増加で抑えられるという説明でよいか。

#### **宮澤課長**

2人分の退職を見ているので、トータルとしてはそれでよい。

### **(3) ニュースレターについて**

#### **山沖会長**

では、続いてニュースレターの検討に入る。

表面は町の方で作成してもらっており、こちらは先ほど審議した答申案の内容に基づいて作られている。裏面の方は委員会のページであり、村端委員に原案を作ってもらい部会でも検討した。

表題として「財政健全化への着実な取組みを期待」と述べて2年間の我々の思いを伝えるという形にしている。

<以下、読み上げて説明>

村端委員の方から何か補足はあるか。

#### **村端委員**

原案を作った段階では、町民の皆さんに出来るだけ読んでもらえるように、分かりやすくしたつもりだ。例えば、基金や公債費という言葉はなるべく使わないとか、一緒に考えたいという姿勢を強調した。ただし、委員会として伝えたいことはきちんと盛り込むようにした。総務部会でもそのように話し合い、皆さんに提案している。

#### **和澤委員**

<1>③では、見出しは「貯金」だが本文では「基金」になっているが。どちらかの用語で全部統一したらどうか。

#### **山沖会長**

村端委員の思いとしては、表題のところでは貯金という言葉にして分かりやすくしているが、本文では通常使う基金にしているということではないかと思うが。

#### **村端委員**

その通りで、先ほどは分かりやすくと言ったが、この部分は表題で貯金と書けば分かってもらえるだろうし、枯渇とか積上げとかという本文の財政用語の説明では逆に分かりにくくなることもあるので、すべて厳密に統一しなければならないということではないだろうと思う。

#### **山沖会長**

言葉のニュアンスとしては、「貯金」というと「余っているから貯金する」と聞こえてしまう。ただ、②は公債費とせずに借金で統一している。

#### **村端委員**

直すのであれば、本文中の前の方は「一時心配された貯金（基金）の枯渇」とし、後の方はそのまま基金とするということでもよいかもしいない。

#### **山沖会長**

表題を「将来に備えて積立てを計画的に」とか、「蓄え」という言葉もあるが。  
<このあと、若干のやりとりのあと、貯金（基金）とすることでまとまった>

#### **和澤委員**

<4>の最後に「本委員会の仕事」という部分があるが、「仕事」というと、「本委員会の答申」のことかと思ってしまうのだが。

#### **村端委員**

仕事という意味は、長時間かけて議論をした中身、資料、答申そういった全体を指したつもりで、それがこれからの礎になっていくという思いを込めたつもりだ。「答申」とするだけでは狭くなるので、適切な言葉があれば変えてもいいと思う。

#### **山沖会長**

委員会をよく使うのは「活動」という言葉だ。「成果」という言い方もあるかもしれない。  
ここで少し休憩を取り、その間に村端委員に考えてもらうことにする

#### **<休憩>**

## 山沖会長

では村端委員のお考えをお聞かせいただきたい。

## 村端委員

あまりいいプランも出てこないが、「活動」というだけでは言葉が足りないような気がするので、「本委員会の協議や答申などの活動」としてはどうか。そうすると紙面が足りなくなるので、その前の「将来ビジョン」を「将来像」として字数を減らせばよい。

<このあと、多少のやり取りの後、村端委員の提案通りとすることで一致>

## 山沖会長

では、表面の案が出されているので、説明をお願いしたい。

## 塩原係長

<原案に基づいて概要を説明>

## 山崎委員

Ⅲ（２）「未活用の普通財産の売却」の項で、「北保育園跡」はどうか。町民の意識を高めるために入れた方がいいのではないかと。

<「交流センター東側スペース、北保育園跡地など」と変更>

## 村端委員

「答申本文、Ⅰ財政健全化のため特に求められる視点」は省略しすぎだ。ここは極めて重要なところなので、まず順に番号をつけて、①「第６次総合計画（後期基本計画）の改定」の後に「に当たって、町づくりの将来像を練り上げ」を追加。②では「経常経費を削減し」の後に「て、財政の健全化を図り」を追加、③では、「上述した２点を実現するため」のあとに「町長の決断とリーダーシップのもと」を追加。

これらは、我々の強調点でもあるので是非入れてほしい。それ以外は大きな問題はないと思う。町がつくる紙面なので、あくまで私の要望だ。

<このあと、細かい字句上の修正について意見交換>

## 塩原係長

これまでの意見を踏まえて１枚に収まるように紙面を構成し直す。

### 山崎委員

裏面に戻るが、<1>②の3行目に「これから数年間、毎年6億円を超える返済を続けなければならない」とある。これから数年間というより、何年続くのか分かればそれを明記した方が分かりやすいのではないか。

### 村端委員

財政シミュレーションの公債費の欄を見ると、令和4年度が7億3,000万円、令和5年度が6億4,000万円というように、ずっと6億円台になっている。しかし、財政シミュレーションでこれ分かるのは令和8年度までだ。その後はシミュレーションしてみないと何とも言えない。だから、これをもとに書くとすれば、「少なくとも5年間は」となるのだろうが、一体いつまでかとなるので、ぼかした言い方をしている。

### 山沖会長

地方債残高の推移では令和13年度まで伸ばしたが、公債費は特に発表していないので、幾らかとは言えないということよろしいか。

### 宮澤課長

まだ、はっきりしない部分があり、毎年1億円程度みて伸ばしてあるだけなので、シミュレーションといってもはっきりとは示せない。

### 丸山委員

<4>の最後の部分を、先ほど「本委員会の協議や答申などの活動が、少しでもそのための礎となることを」と直した。村端委員は遠慮がちに「少しでも」との言葉が使われたと思うが、私たちからすればラストの委員会を入れて39回、200時間以上も費やして、何とか池田町を立て直したいという思いでここまで来た。だから、「少しでも」というより、本委員会の仕事をしっかりPRして終わりたいし、たくさんの礎になってもらいたいという気持ちがある。

### 村端委員

私自身の正直な気持ちで言えば、「本委員会の活躍」とか「奮闘」としたいくらいだが、これはちょっと冗談としても、今の発言を聞くと「少しでも」は不要かもしれない。

### 山沖会長

なくても同じ意味になるので、削除したい。

### 丸山委員

末尾に「心から願うものです」とあるので、ここにしっかり私たち委員会の思いが込められていると思う。

#### **村端委員**

今までの委員会では、次の委員会まで間に合うようにしていたが、今回は最終回の前であるので、最終案の確定はできるだけ早くし、延び延びにならないように是非お願いしたい。

<ニュースの発行日などの確認>

#### **山沖会長**

皆さんからは、10日（金）くらいまでに連絡を頂き、必要があれば土日、あるいは13日（月）の午前中までには検討を終えるということにしたい。それでよろしいか。（確認）  
なお、次回の開始時刻をどうするか決めておきたい。

<協議の結果、次回委員会の開始時刻を午後3時とすることに決定>

では、以上で今日の会議を閉じたい。

#### **5. 閉会（丸山副会長）**